	重点取組分野	具体的取組
		①体育・保健の授業や健康会議(学校保健委員会)等の取組、給食指導を通して、児童が体の成長に必要なことを知るようにするとともに、保護者に生活習慣の改善についての情報を発信していく。②集会や委員会活動で
担:	当 体育・保健安全部	の機会をきっかけにして、継続的に体力づくりに取り組む。

健やかな体に関わる本校の状況

- ・コロナ禍の生活で手洗いの習慣がつき、衛生面を気にかけたり、規則正しい生活を意識しようとしたりしている児童が多い。
- ・給食を楽しみにしている児童が多いが、食が細い子や野菜など好き嫌いの多い児童も各クラスに数人いる。朝食を欠食する児童は多くないものの、栄養のバランスや摂取量については問題もある。
- ・すりきず、ねんざなど休み時間に起きる怪我で保健 室を利用する児童が多い。「これをしたら怪我をす る。」など、自分で危険
- を予測することが低学年は、まだ難しい。
- ・感染症拡大防止の観点から、学校での活動に加え、 スポーツクラブ等放課後の活動等、様々な場所で児 童の運動機会が制限されたことや、マスクをしての生 活で児童の体力は大きく低下している。

今年度の目標

年に2回の健康会議や委員会での体力向上の取組を行い、児童の発達段階に応じた 健康づくり・体力回復の活動を進め、「健やかな体」の育成を目指す。

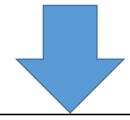
目標を実現するための具体的行動プラン

- ・休み時間、日常生活、学習活動を活用した健康アップ・体力回復に向けた取組の推進を行うこと。
- ・運動機会の確保、規則正しい生活の意識の定着、教員の指導力の向上を図ること。
- ・体育委員会(児童)や健康委員会(児童)が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しみを味わわせ、健康・体力の回復を目指すこと。

【具体例】

・集会の時間を使った縄跳び集会

・体育委員会による休み時間の体力アップ活動(マラソン、バトンスロー、50m走、立ち幅跳び、リズムダンス等)



年間を通して実践していく

・行事や取組後の振り返りも充実させ、フィードバックを行うことで、次の取組への意欲付けやを行っていくこと。

下半期